教員養成の目標【学部】

人文社会科学部

【文化創生課程】

〔中一種免（国語，英語，社会）・高一種免（国語，英語，地理歴史）〕

文化創生課程では，人文科学分野の専門知識・技能を学びつつ，国内外の歴史・文化への理解力，地域の伝統文化を含む自国の文化的価値を発信する力を身につけ，地域の文化振興や地域社会のグローバル化の推進等に寄与する人材の育成を目標としている。このような人材育成の基本方針にのっとって，人類の歴史・文化・社会に対する深い理解力と洞察力，外国語のコミュニケーション能力に多様性認識に立ったグローバルマインドを合わせもった教員の養成を目指している。

【社会経営課程】

〔中一種免（社会）・高一種免（公民，商業）〕

社会経営課程では，社会科学分野の専門知識・技能を学びつつ，自治体の政策立案の現場や民間企業の経営戦略，地域住民との協働による課題解決の現場で主体性を発揮することのできる実践力を身につけ，地域課題を含む現実の課題の解決に寄与する人材の育成を目標としている。このような人材育成の基本方針にのっとって，社会のトータルマネジメントという幅広い視点に立って，現実の課題を解決していく能力・資質・スキルをそなえた教員の養成を目指している。

教育学部

【学校教育教員養成課程】

〔幼一種免，小一種免，中一種免（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語），高一種免（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，保健体育，工業，家庭，英語），特支一種免（知・肢・病）〕

学校教育教員養成課程は，子どもが自律的に他者とともに社会を形成する主体として成長・発達していくことを支援するための専門力と実践力を持ち，教育の実践共同体の一員として地域の教育課題に対応できる教員の養成を目指している。「教わる側」から「教える側」への移行を「専門力の充実」と「実践力の強化」の側面からサポートする。

【養護教諭養成課程】

〔養教一種免，中一種免（保健），高一種免（保健）〕

養護教諭養成課程は，養護学を基盤とした専門性を身に付け，子どもが生涯にわたって健康に生きる力を育むことのできる専門性，実践力を持った教員の養成を目指している。養護教諭という専門職の社会的責任を自覚し，その活動に必要な研究および実践を習得できるようにサポートする。

医学部

【保健学科】

〔高一種免（看護）〕

看護は，人間をライフプロセスの中で全人的な存在としてとらえ，個々人に即応して，人間が健康に生きることを支援することである。少子高齢化が深刻な日本においては，看護の果たす役割が社会から期待されている。本学科では高校生が対象者への尊厳と倫理観を持ちながら，看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得できるように個別指導を重視した教育を行っている。また，看護の本質と社会的な意義を理解し，国民の健康の保持増進に寄与できる能力と態度を身に付け，職業人として必要とされる力を備えた人材を育成できることをねらいとしている。これらの教育理念に基づきながら，看護の使命に対する自覚を持ち，看護職者を目指す高校生に対して，教育学の理念や方法を基礎とした看護教育を実践できる教員を養成する。

理工学部

【数物科学科】

〔中一種免（数学，理科）・高一種免（数学，理科）〕

数学および物理学は，現代の科学技術の根幹をなす学問であり，次の時代を担う中高生に確実に伝えていかなければならない。数理科学コース・応用計算科学コースでは，代数学，幾何学，解析学，確率論・統計学に加え，コンピュータや応用数学に関する体系的な教育・研究を行い，数学的基礎知識と論理的思考力，自然や社会における諸問題に対する数理科学的な応用力を兼ね備えた人材を育成する。そのなかで数学の確かな知識と応用力に支えられた数学教育のできる教員を養成する。物質宇宙物理学コースでは，自然界を支配する基本原理・法則を研究する物理学を学び，それを基にイノベーションのための問題解決を主体的・能動的におこなうことのできる人材を育成することを目的としており，基本原理に基づく自然現象の幅広い理解と，その理解に基づく問題解決の

在り方を教育の過程で示していく事のできる能力を兼ね備えた教員を養成する。

【物質創成化学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科）〕

物質創成化学科は，化学の基幹学問である無機化学，有機化学，分析化学及び物理化学などからなる基礎化学の教育に重点をおき，これを基盤にして新技術，物質，素材などの研究開発能力を身に付けた創造性に優れた研究者，技術者を育成する。その専門性を確立した上で，幅広い知識と教職に必要な知識を身に付けた教員を養成する。

【地球環境防災学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科）〕

生徒の理科離れに対する対応を担う理科教員の果たすべき役割は，今日ますます重大となってきている。これまでのように理科の一つの専門分野からの視点で物事を的確に捉えることはもちろん，多角的な複数分野に広がる視点から捉えることの重要性を教えることもまた必要である。地球環境学科は，地球を外圏，大気・水圏，地圏に区分してそれぞれを捉えると共に，地球全体を一連のシステムと捉える教育研究を実施しており，その専門性を確立した上で，広い教養を身につけた教員養成を目指している。

【電子情報工学科】

〔高一種免（情報）〕

日々進歩し，革新技術も相次いで導入されている情報通信分野において，その指導者には表層的な知識だけではなく，技術の本質を理解して新規技術にも対応できる能力を有することが望まれる。また，この分野においては情報セキュリティーの確立が必須であるが，このためには倫理観による裏付けが必要とされる。そこで教員養成においては情報科学，情報工学と電子工学，並びにそれらを融合した分野における体系的かつ本質的な理解力が得られるよう，カリキュラムを編成するとともに，倫理観を兼ね備えた人材を養成できるよう，少人数制の担任制度，卒業研究指導体制を整える。

【機械科学科】

〔高一種免（工業）〕

製造分野の多くは今後も国際的分業が進展し，製造分野には高度な自動化による加速度的な低コスト化，高信頼化の要求が高まると予想される。また，政府の重点施策により国のコア産業として医用システム分野の新産業創出が加速される。これらの社会の要請に応えるために，理学の基礎をしっかりと身に付け，機械工学の基礎を基盤とし，知能化機械技術者として国際的に活躍できる多様で柔軟な思考力を備えた創造性に富む人材，あるいは新産業分野として創出が加速される医用システム産業に対応できる専門性

の高い人材を育成する。それらの専門性を確立した上で，幅広い知識と教職に必要な知識を身につけた人材を養成する。

【自然エネルギー学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科)〕

自然エネルギー学科では，エネルギー資源・変換・輸送・貯蔵・利用に関する分野を基本として，エネルギーシステムや社会との関係性をグローバルな視点で教育する。

一方，地域ごとの自然エネルギーの利用に関する様々な課題を，自然科学と社会科学の知識を総合的に活用して解決を目指すという，ローカルな視点も研究活動を通して習得させる。本学科でのこのような教育方針のもとで教員養成を行うことにより，学校教育の場において、教科の専門的知識をもとに，生徒に幅広い観点から物事を考える機会を与え自発的な学習を導くことができるようにする。

農学生命科学部

【生物学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科，農業)〕

生物学科は，基礎科学としての生物学の教育研究領域であるが，農学の基礎的教育分野として位置づけられるとともに農学との連携によって生物学的課題の実際性・応用性を理解できる能力を有した教員を養成する。その専門性を確立した上で，各教科の幅広い知識と教職に必要な知識を身に付けさせる。

【分子生命科学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科，農業)〕

分子生命科学科は，理学系と農学系の生物有機化学，生化学，応用微生物学，分子生物学，細胞生物学の各分野から編成された学科で，生命現象を解明する能力と技術開発とそれを応用する能力を有する人材の養成を目的とする。その自己の専門性を確立した上で，各教科の幅広い知識と教職に必要な知識を身につけた教員を養成することを目的としている。

【食料資源学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科，農業)〕

食料資源学科は，基礎生物学の全般から，農業の基本目標である食料の安定・安心供給を目的とした食料資源に関わる先端バイオテクノロジー，食品科学および農業生産環境学についての総合的な教育・研究を行う。これらの理学および農学の幅広い知識を有する教員養成を目指している。

【国際園芸農学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科，農業)〕

国際園芸農学科は，農業生産分野と農業経済経営分野とから成り，人類的課題となっている食料及びバイオマス生産に関わる実学的課題を自然科学・技術から経営・経済までを学ぶことによって総合的に捉える視野と野外科学的手法によって実践力を持った人材育成を目指しており，その中で深い専門的知識とそれぞれの科目領域において幅広い知識を持った教員養成を目指している。

【地域環境工学科】

〔中一種免（理科）・高一種免（理科，農業)〕

地域環境工学科は，自然環境の保護・保全に配慮した農業生産基盤の整備，地域住民の生活環境の整備・構築に関する教育によって，豊かな創造性と深い洞察力を培い，自主的な問題解決や論理的な試行を行える“科学的なものの見方”のできる人材の育成を目指しており，その中で深い専門的知識と，それぞれの科目領域において幅広い知識を持った教員養成を目指している。